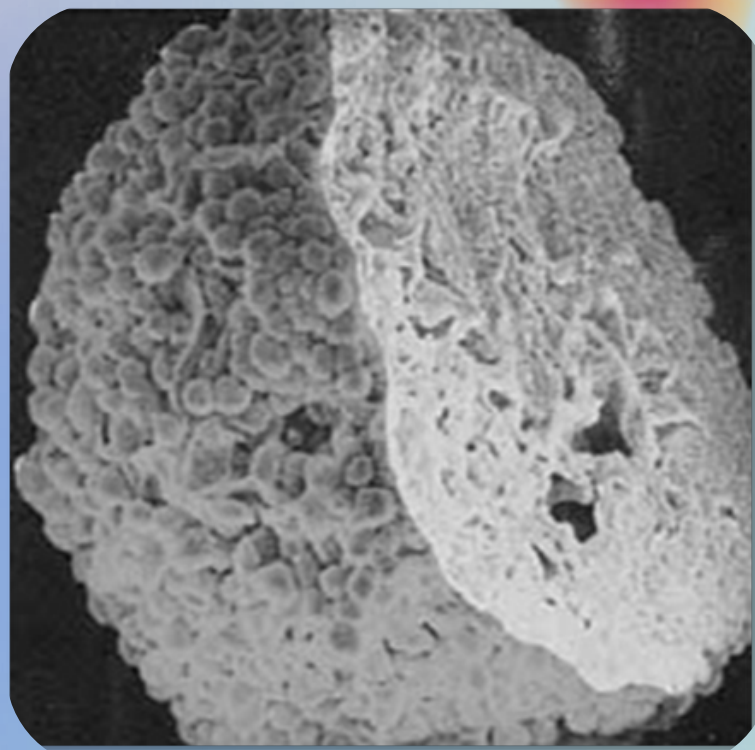
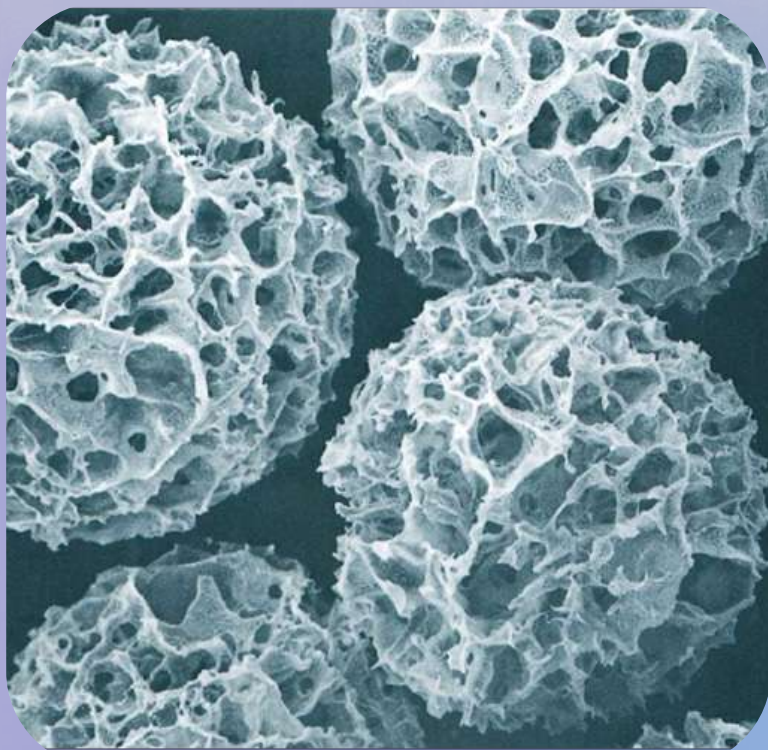


セルロース製 × 多孔質 × 正荷電のマイクロキャリア



2つのアプローチでバイオ医薬品生産に貢献します

## 1. 目的物の収量向上

一般的に、細胞を高密度に培養すると、細胞間相互作用の影響でタンパク質合成が促進されることが知られています。

BioCradle<sup>®</sup> は多孔質構造を持つため細胞を高密度に培養することが可能です。この特長により、細胞のタンパク質合成を促進させ、結果として目的物の収量を向上させる効果が期待できます。

## 2. スケールアップの適用性向上

BioCradle<sup>®</sup> は空孔内に入り込んだ細胞を、せん断応力から守ることができます。これによって、攪拌培養器ごとに異なるせん断応力の影響を受けづらくなるため、スケールアップの適用性を向上させる効果が期待できます。

旭化成株式会社

バイオマテリアル事業推進部



## 仕様 / 物性値

	BioCradle <sup>®</sup> H	BioCradle <sup>®</sup> L
荷電容量	1.65 - 1.95 mmol Cl <sup>-</sup> /g	0.90 - 1.20 mmol Cl <sup>-</sup> /g
素材	再生セルロース	
表面修飾	N,N-ジエチルアミノエチル (DEAE) 基	
粒子径	200 - 280 μm	
平均開孔径	30 μm	
比表面積	1.1 m <sup>2</sup> /g dry	

上記の仕様 / 物性値は全て自社測定データとなります

荷電容量別に2つのラインナップがございます  
 まずは無償サンプルでお使いの細胞との相性をお確かめください

製品名	カタログ番号	内容量
BioCradle <sup>®</sup> H20	BCRH0020	20 g
BioCradle <sup>®</sup> H1000	BCRH1000	1000 g
BioCradle <sup>®</sup> L20	BCRL0020	20 g
BioCradle <sup>®</sup> L1000	BCRL1000	1000 g

旭化成株式会社  
 バイオマテリアル事業推進部

